

報告第 5 号

平成 3 0 年度公益財団法人取手市健康福祉医療事業団決算報告書並びに
平成 3 1 年度公益財団法人取手市健康福祉医療事業団事業計画について

地方自治法第 2 4 3 条の 3 第 2 項の規定に基づき，平成 3 0 年度公益財団法人取手市健康福祉医療事業団決算報告書並びに平成 3 1 年度公益財団法人取手市健康福祉医療事業団事業計画を別紙のとおり提出する。

令和元年 6 月 3 日提出

取手市長 藤 井 信 吾

平成30年度

事業報告書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

公益財団法人取手市健康福祉医療事業団

平成30年度事業報告
(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

平成30年度事業計画に則り、生活困難者等の方々への施設利用を含め高齢者福祉サービスの向上を中心に、また、取手市域から信頼される高齢者介護ケアサービスの要として、事業を実施してまいりました。

I 公益事業

1 介護老人保健施設サービスの運営（生活困難者等の方の利用状況）

＜居住費・食費の自己負担限度額のある方の利用状況＞

- (1) 生活保護等の方、老齢福祉年金受給者の方で世帯全員が市区町村民税非課税の方 0名/年間実利用者数
- (2) 世帯全員が市区町村民税非課税の方で、前年の合計所得金額と課税年金収入の合計が80万円以下の方 188名/年間実利用者数
- (3) 世帯全員が市区町村民税非課税の方で、上記(1)、(2)に該当しない方 250名/年間実利用者数

2 短期入所療養介護サービス（ショートステイ）の運営（生活困難者等の方の利用状況）

＜居住費・食費の自己負担限度額のある方の利用状況＞

- (1) 生活保護等の方、老齢福祉年金受給者の方で世帯全員が市区町村民税非課税の方 0名/年間実利用者数
- (2) 世帯全員が市区町村民税非課税の方で、前年の合計所得金額と課税年金収入の合計が80万円以下の方 40名/年間実利用者数
- (3) 世帯全員が市区町村民税非課税の方で、上記(1)、(2)に該当しない方 31名/年間実利用者数

3 事業計画に基づいた入所及び短期入所事業の状況報告

(1) 入所年間延利用者数

28,779名（1日平均利用者数78.8名）

短期入所年間延利用者数

2,230名（1日平均利用者数6.1名）

平均年齢

入所者 84.6歳

在宅復帰率 短期入所者 83.5歳
70.6% (年間)

(2) 家族会の実施

- ・ 第1回家族会 平成30年 8月 5日に実施
- ・ 第2回家族会 平成30年12月16日に実施

(3) 内部（自己）及び外部（ご利用者様）評価の実施

（緑寿荘ホームページ及び広報誌で公表）

<内部（自己）評価>

- ・ 平成29年度緑寿荘からの転院症例
- ・ 平成29年度認知症短期集中リハビリ評価表集計報告
- ・ 平成29年度アクシデント発生集計報告

<外部（ご利用者様）評価>

- ・ 平成29年度入所ご利用者様による食事満足度調査集計報告
- ・ 平成29年度通所リハビリテーション満足度調査報告
- ・ 平成29年度苦情及びクレーム集計報告
- ・ 第1回家族会アンケート報告
- ・ 夏まつり参加者アンケート報告
- ・ 第2回家族会アンケート報告
- ・ 冬まつり参加者アンケート報告

(4) リスク管理・感染症対策・事故防止・身体拘束廃止等への対応の実施

毎月第4金曜日に安全・衛生委員会を中心に、報告に基づいて各事例を多方面から分析検討し、事故予防対策等の徹底を図りました。

(5) 「食」に関する安心安全サービスの充実

毎月行われる栄養管理会議を中心に検討し、安心安全な食事を提供しました。

<食事プロジェクト>

- ・ すし祭り 3月に実施
- ・ 流しそうめん 6月に実施
- ・ 毎月のお楽しみ献立（季節行事食を含む） 月3回実施
- ・ 毎月のイベント（乳製品） 月1回実施
- ・ 調理クラブ 年6回実施
- ・ 外出してのランチ 月1回実施
- ・ お茶会 週1回実施

(6) リハビリ専門施設としての更なる充実

在宅復帰施設としての要であるリハビリを下記のとおり実施しました。

①状態別リハビリテーションの実施状況

様々な状態に合わせたリハビリテーションを行い、身体機能の維持向上に努めてまいりました。

<個別生活動作療法>

関節可動域運動及びポジショニング（姿勢維持のための練習）、起居動作練習、移乗動作練習、歩行練習、トイレ動作練習、床上動作練習、階段（段差）昇降練習

<物理療法（疼痛の緩和）>

ホットパック（湿式・乾式）、マイクロ波、低周波、足浴

<浮腫療法>

リンパマッサージ、メドマー（治療器械）、筋力増強運動（マシンを使った練習を含む）、足浴

<個別及び集団での認知療法>

リアリティーオリエンテーション（見当識の訓練）、学習療法、回想法、運動療法、リラクゼーション・マッサージ療法、作業療法

<摂食嚥下療法>

直接的嚥下訓練（食物を使った訓練）、間接的訓練（口腔体操（発声練習含む）・アイスマッサージ）

リハビリ実施回数

（対象者：入所、短期入所者）

リハビリ内容	実人数	延実施回数
個別生活動作療法	218人	14,621回
物理療法（疼痛の緩和）	50人	1,693回
浮腫療法	12人	380回
個別及び集団での認知療法	111人	3,914回
摂食嚥下療法	27人	1,413回

②在宅復帰のご利用者様への退所前後訪問の実施

在宅復帰されるご利用者様のご自宅に退所前後に訪問して、快適な生活が営めるように専門職の観点から必要なサービス計画を立案し、実施しました。

<年間在宅復帰件数> 77件（内76件に退所前後訪問を実施）

(7) 消防訓練

平成30年6月及び11月に総合訓練（通報訓練、消火訓練、避難誘導

訓練，夜間想定訓練）を実施しました。

(8) 管理業務に関すること

①各設備保守点検（主なもの）

- ・エレベーター保守（遠隔監視：随時，定期：毎月）
- ・電気工作物保守（毎月1回実施）
- ・消防設備点検保守（年2回実施）
- ・その他の設備保守（毎月1回実施）

②各設備法定検査及び報告（主なもの）

- ・エレベーター法定検査
- ・簡易専用水道管理検査（受水槽関係を含む）

4 通所リハビリテーションサービスの運営

(1) 生活困難者等の方の利用状況

＜食費の自己負担限度額のある方の利用状況＞

生活保護等の方，老齢福祉年金受給者の方で世帯全員が市区町村民税非課税の方 2名／年間実利用者数

(2) 事業計画に基づいた通所リハビリテーションの状況報告

在宅生活の要である通所リハビリテーションは，他の通所サービスとは異なり，医師・療法士・看護師・介護士等の多職種が個別ケアプランに基づきリハビリテーションを実施しています。また，単にリハビリテーションの提供だけでは通う楽しみも半減してしまいます。そうした観点より，ご利用者様に満足いただけるように各種イベントを開催して，楽しみながらリハビリが行えるサービスの提供に努め，継続したリハビリテーションの効果で身体機能の維持向上に努めてまいりました。

①年間延利用者数 8,902人 平均年齢 82.5歳

②リハビリテーションの実施状況

＜個別生活動作療法＞

関節可動域運動及びポジショニング（姿勢維持のための練習），起居動作練習，移乗動作練習，歩行練習，トイレ動作練習，床上動作練習，階段（段差）昇降練習

＜物理療法（疼痛の緩和）＞

ホットパック（湿式・乾式），マイクロ波，低周波，足浴

＜浮腫療法＞

リンパマッサージ，メドマー（治療器械），筋力増強運動（マシンを使った練習を含む），足浴

<個別及び集団での認知療法>

リアリティーオリエンテーション（見当識の訓練），学習療法，回想法，運動療法，リラクゼーション・マッサージ療法，作業療法

リハビリ実施回数

（対象者：通所リハビリ）

リハビリ内容	実人数	延実施回数
個別生活動作療法	128人	5,939回
物理療法（疼痛の緩和）	44人	2,792回
浮腫療法	3人	47回
個別及び集団での認知療法	1人	6回

③各種イベント等

<月例会>

ご利用される皆様に喜んでいただけるイベント等を立案して，通う楽しみを提供し，継続したリハビリの提供ができるように実施しました。

イベント内容	実施日	参加人数
お花見外出会	平成30年 4月 2日～ 平成30年 4月 6日	162名
緑寿荘大運動会	平成30年 5月31日	28名
大相撲 緑寿荘場所	平成30年 6月 7日	36名
通所「夏祭り」	平成30年 7月25日～ 平成30年 7月26日	39名
すいか祭り	平成30年 8月23日	31名
敬老週間（95歳以上のご利用者様を表彰）	平成30年 9月17日～ 平成30年 9月22日	176名
カラオケ大会	平成30年10月31日	35名
クリスマス会	平成30年12月25日	32名
節分	平成30年 2月 1日	31名
鮭祭り（寿司店による出張寿司）	平成31年 2月28日	36名
さくら祭り	平成31年 3月27日	35名
合計		641名

5 地域包括支援センター事業の運営

取手市内の第2圏域内（稲，野々井，井野台三～五丁目，駒場，新町，寺田，中原町，西，白山，本郷）に居住する高齢者を対象に，以下の事業を実施しました。

(1) 包括的支援事業

①介護予防ケアマネジメント

介護予防ケアプランを作成し，プランに基づき地域支援事業を行いました。

- ・総合事業サービス（通所型・訪問型） 784名（国保連請求数）
- ・元気ハツラツ教室 11名（実利用者数）
- ・その他一般介護予防支援事業への支援

②総合相談・支援

相談対応及び専門的・継続的な相談支援や実施に当たって必要なネットワークの構築，地域の高齢者の状況の実態把握を行いました。

- ・相談登録者数 2,089名
- ・相談件数 7,500件

③権利擁護

地域の民生委員，介護支援専門員などの支援だけでは十分に解決できない問題について，成年後見制度の活用促進，老人福祉施設等への措置の支援，高齢者虐待への対応，困難事例への対応，消費者被害の防止に関する諸制度を活用し，個別及び対策会議を開催して対応しました。

- ・相談件数 1,140件
- ・成年後見制度市長申立てへの支援 6名
- ・高齢者虐待防止への支援 5名
- ・高齢者虐待に関する会議 3回
- ・成年後見に関する会議 10回
- ・消費生活セミナーの開催 1回（介護等専門職員向け 23名参加）

④包括的・継続的ケアマネジメント支援

包括的，継続的なケア体制の構築，地域における介護支援専門員のネットワークの構築・活用，介護支援専門員に対する日常的個別指導相談，地域の介護支援専門員が抱える支援困難事例等への指導・助言を行いました。

- ・相談件数 2,680件
- ・困難ケース同行，会議等参加 33回

- ・介護事業所職員との意見交換会 3回
- ・個別事例検討の実施 1回（介護等専門職員向け 14名参加）

⑤生活支援体制整備事業

地域住民と話し合いを重ね、多様な日常生活上の必要な支援体制の整備強化及び高齢者の社会参加のための協議会を開催しました。

- ・地域支え合いづくり推進協議会等 2回
- ・地域住民との話し合い 19回
- ・他市町村事業視察 3回（つくばみらい市，結城市）

(2) 介護予防支援業務

介護保険における予防給付の対象となる要支援者が介護予防サービスを適切に利用することができるように、介護予防サービス計画の作成やサービス等の提供が確保されるように事業者等の関係機関との連絡調整を行いました。

- ・介護予防支援関係 980件

(3) その他

①高齢者の実態把握に関する事業

事前に把握している圏域にお住まいの高齢者のご自宅に訪問し、実態把握に関する調査を行い、必要に応じて対応を図りました。

- ・対象高齢者数 462名

②介護予防に関する普及啓発を行う事業

介護予防に資する基本的な知識を普及啓発するため、パンフレット等の作成及び配布、有識者等による講演会や相談会等の開催など、市が介護予防の普及啓発として効果があると認める事業を行いました。

- ・健康教育 7回
- ・げんきサロン，ふれあいサロン，高齢者クラブへの訪問 9回

③介護予防に関する活動を行うボランティア等の人材育成並びに介護予防に資する地域活動を行う組織の育成及び支援を行う事業

- ・認知症サポーター養成講座 1回
- ・認知症についての講話 7回
- ・認知症サポーターステップアップ養成講座 1回

④介護予防に関する事業に係る評価を行う事業及び介護保険法に規定する

任意事業

- ・配食サービス実態把握事業 20件

⑤認知症初期集中支援事業

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で暮らし続けられるように、認知症の人やその家族に早期に関わり、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することを目的とした事業を行いました。

対象者 8名

- ・認知症初期集中支援チーム員会議 15回
(構成メンバー：医師・保健師・主任介護支援専門員)
- ・チーム医師同行訪問 6回
- ・医療機関等への受診同行 5回

⑥地域ケア会議推進事業

- ・地域ケア会議 34回
- ・介護予防普及展開事業地域ケア会議 1回(傍聴者 50名)
- ・他市町村事業視察 1回(五霞町)

⑦その他の事業

一般市民向け認知症普及に関する講演会を開催しました。
「ぼけますからよろしくお願ひします」 103名参加

6 職員の処遇改善

(1) 人事考課

職員がそれぞれ1年間の具体的な業務や、自己啓発に関する目標を上司を交え立案し、期首・期中・期末にそれぞれ面談を行い、目標に対して評価を行いました。

(2) 職員教育制度の充実

職員教育制度を充実させ、サービス提供者としてふさわしい職員となるための教育プログラムを実施しました。また、他の先進施設への実務研修や勉強会等の拡充、外部研修会(事例発表)等への参加を通じ、看護・介護・リハビリ等のスタッフ間で技能向上に努めた交流を行いました。

<施設内研修（職員対象・勉強会等を含む）>

研修内容	参加人数
職員研修（就業規則，関係法令，倫理規定，処遇改善）	20名
人事考課と給与体系について	18名
R4システムとICFステージング（外部講師）	75名
栄養マネジメントについて	20名
感染症と対策について（外部講師）	26名
認知症ケアについて	23名
アクティビティケアについて	24名
回想法について（外部講師）	30名
シーティングについて	30名
認知症初期集中支援チームの活動について	21名
皮膚トラブルと褥瘡管理について（外部講師）	24名
R4システムとICF・定期検討会について	28名
嚥下調整食に求められるもの（外部講師）	33名
口腔ケア講習会（外部講師）	28名
ターミナルケアについて	22名
通所リハビリについて	25名
効率良く疲労を回復しよう（産業医）	33名
フォーカスチャーティングについて	25名
施設によるアクシデント予防の意識づけ	19名
身体拘束排除について	19名
非常災害時の対応について	15名
認知症とそのケアについて（外部講師）	35名
糖尿病について	30名
嚥下障害と嚥下訓練について	18名
在宅復帰支援と地域連携（まとめ）	42名
働き方改革関連法・処遇改善・36協定について	70名
施設内研修合計	753名

<職員外部研修>

研修内容	研修回数	参加者数
利用者へのサービス向上関係	3回	4名
給食，栄養関係	5回	5名
専門職の技術向上関係	35回	43名
研究発表会	2回	14名

働き方改革関連セミナー	2回	2名
外部研修合計	47回	68名

(3) 健康管理部による健康管理の徹底

介護施設で働く職員環境の改善や職員の健康管理を目的に、下記項目を実施して、職員の健康管理に努めました。

①健康管理活動

・定期健康診断

第1回：平成30年5月～6月に実施

第2回：平成30年11月～12月に実施（夜勤従事者）

・産業医による保健指導及び健康相談を毎月第4水曜日に実施しました。

・職員ストレスチェックを平成30年10月に実施しました。

②教育活動

・産業医によるセミナーを平成30年11月に実施しました。

③健康づくり活動

・職員への健康セミナー参加等推進活動及び各種勉強会への参加（内部・外部研修会への参加）を推進しました。

④サービス向上及び処遇改善会議等

会議等の名称	参加職種	実施状況	会議等の主な内容
管理職戦略会議	施設長，事務長，課長，課長補佐，係長	1回／月	施設運営上の戦略会議
運営委員会	各職種の主任以上及び代表者	1回／月	①業務上の問題点の検討及び改善 ②月例決算状況の把握
安全・衛生委員会	施設長（医師），事務長，看護職，介護職，療法職，支援相談員，管理栄養士，介護支援専門員	1回／月	安全衛生に関する検討会 ①事故防止対策 ②感染症対策 ③身体拘束廃止 ④苦情クレーム対応 ⑤内部・外部評価の実施 ⑥問題点の把握及び改善
職員安全・衛生委員会	産業医，各係長以上	1回／月	職員の健康管理対策

ターミナルケア委員会	医師, 事務長, 各係長 以上及びターミナル 委員	随時	ターミナルケアの向上及びターミナルケア対象者への対応に関する会議
新聞広報委員会	施設長, 事務長, 各職 種代表者	1回/月	緑寿荘だより(広報誌)やホームページでの広報活動の企画・原案作成及びホームページの運営
看護介護課会議	①リーダー・主任会議	1回/月	①業務上の問題点の改善要望等の把握
	②各種委員会会議	1回/月	②リスク・衛生・ケアサービス・レクリエーション・記録等の各グループ担当によるサービス向上を目的とした検討会
	③看護会議	1回/月	③看護職の業務上の問題点の検討及び改善
	④栄養管理会議	1回/月	④施設での給食提供に関する改善検討
	⑤R4プロジェクト会議	1回/月	⑤R4システム運用に関する検討
サービス担当者会議	医師, 事務長, 看護職, 介護職, 療法職, 支援相談員, 管理栄養士, 介護支援専門員	1回/週	①利用予定者の入所判定・退所判定 ②入所者の定期的なケアサービスの検討
ケア提供改善プロジェクト会議	施設長, 事務長, 各職種代表者	1回/週	ケア提供全体の改善及び必要な修繕・物品購入等の検討実施
ベッドコントロール会議	各職種代表者	1回/週	ご利用予定者様のベッドコントロール会議
通所事業所会議	①担当者会議	随時	①ご利用者様へのサービス提供内容を確認するため, ご本人・ご家族・担当ケアマネージャー等が集まり適切なサービスを提供しているか確認するもの
	②業務会議	1回/隔週	②通所業務のサービス向上を

	③運営会議 ④ケア会議 ⑤運転会議	1回/隔週 1回/週 1回/月	目的に行うもの ③利用率の向上を図るための運営会議 ④ご利用者様のケアプランの見直し等を行うもの ⑤送迎を無事故で行うための安全確認会議
地域包括月例会議	センター長, センター職員	1回/月	毎月の事業の進捗状況の確認及び翌月の事業の計画
居宅介護支援事業所月例会議	管理者, 主任介護支援専門員, 介護支援専門員	1回/月	①業務状況の確認 ②毎月の給付管理状況の確認及びご利用者様のケアプランの確認
各事業所連携会議	各事業所責任者	1回/月	施設・地域包括・居宅事業所の連携強化のための会議

7 広報誌「緑寿荘だより」内容及び内部（自己）・外部（ご利用者様）評価の公開

発行月	主な内容	発行部数
春号 (4月)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度緑寿荘の取組み ・平成29年度通所リハビリテーション満足度調査（外部評価） ・通所リハビリテーション 音楽療法実施紹介 ・超強化型施設10項目について ・寄付金報告 	500部
夏号 (8月)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設行事紹介 ・入所ご利用者様による食事満足度調査集計報告（外部評価） ・苦情クレームレポート集計報告（外部評価） ・新スタッフ紹介 ・平成29年度緑寿荘からの転院症例（内部評価） ・寄付金報告 	500部
秋号 (11月)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設行事紹介 ・全国老人保健施設大会研究発表報告 ・家族会アンケート報告（外部評価） ・夏まつり参加者アンケート報告（外部評価） ・認知症短期集中リハビリ評価表集計報告（内部評価） ・寄付金報告 	500部

新春号 (1月)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設長新年挨拶及び抱負 ・家族会アンケート報告 (外部評価) ・平成29年度アクシデント発生集計報告 (内部評価) ・平成29年度苦情クレーム集計報告 (外部評価) ・家族会開催報告 ・人事異動職員及び新人職員紹介 ・冬まつり実施報告 ・寄付金報告 	500部
-------------	--	------

8 高齢者の公衆衛生に関する指導相談事業等

(1) 「緑寿荘セミナー」の開催

健康的で、できる限り要介護状態にならないために、当施設の施設長（医師）が中心となって健康維持に関する各種講座を開催し、地域高齢者へ健康維持の啓発活動を下記のとおり行いました。

実施日	テーマ	実施会場	参加人数
第1回緑寿荘セミナー 平成30年8月5日	認知症を考える	取手市介護老人保健施設緑寿荘	103名
第2回緑寿荘セミナー 平成30年12月16日	施設運営における課題	取手市介護老人保健施設緑寿荘	99名
合計			202名

(2) 「きらり笑顔教室」の開催

取手市からの介護予防受託事業で、運動機能の向上、栄養改善、閉じこもりの予防、口腔ケア等に関する講習会を専門家（医師・管理栄養士・療法士等）の指導のもと実施しました。

実施月	テーマ	実施会場	参加人数
6月度 (1回開催)	・体力測定	福祉交流センター	21名
7月度 (2回開催)	・認知症予防 ・運動機能向上	福祉交流センター	44名
8月度 (2回開催)	・栄養（低栄養・脱水） ・口腔機能、口腔ケア	福祉交流センター	35名
9月度 (2回開催)	・認知症予防 ・運動機能向上	福祉交流センター	36名
10月度 (2回開催)	・閉じこもり、うつ ・認知症予防	福祉交流センター	37名

認

